

# 2020年12月期第2四半期 決算補足説明資料

---

井関農機株式会社

2020年8月6日

1. 2020年12月期第2四半期業績の概要
2. 2020年12月期 業績予想

# 1. 2020年12月期第2四半期 業績の概要

## <国内>

新型コロナウイルス影響による展示会の中止を初めとする営業活動の自粛および消費増税による反動減などにより減収

## <海外>

- 北米 : 新型コロナウイルス影響は第1四半期に一部あるも軽微  
仕入エンジンの入荷遅れに伴うOEM先へのトラクタの出荷減影響
- 欧州 : ロックダウンを受けた現地代理店店舗の一時閉鎖等により現地の売上が伸びず、当社およびフランス子会社からの出荷に影響、減収
- 中国 : 田植機が好調に推移
- アセアン : インドネシア入札の減少
- アジア : 韓国、台湾が好調に推移

## <新型コロナウイルス影響(当社分析)>

売上高影響額:国内△19億円、海外△7億円、計△26億円

# 連結業績の概要

(2020年1月1日～2020年6月30日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		前年同期比
	2Q実績	比率	2Q実績	比率	
売上高	775	100.0	722	100.0	△ 53
(国内)	599	77.3	572	79.2	△ 27
(海外)	176	22.7	150	20.8	△ 26
営業利益	16	2.1	13	1.8	△ 3
経常利益	8	1.1	11	1.5	+ 3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7	0.9	10	1.4	+ 3
為替平均 レート (円)	米ドル	110.7	108.5		△2.2
	ユーロ	125.7	119.7		△6.0

# 国内売上高

ISEKI

前年同期比  
△27億円

農機製品・作業機は、消費増税駆け込み後の反動や新型コロナウイルス影響により減収、部品・修理収入は堅調に推移、施設工事の増収もあったが、全体では減収

(単位:億円)

		19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	前年同期比	
				備考	
農機 製品 関連	整地機	151	134	△ 17	トラクタ:△15
	栽培機	61	55	△ 6	田植機:△5
	収穫調製機	54	43	△ 11	コンバイン:△9
	小計	266	232	△ 34	
	作業機	120	107	△ 13	
	部品	69	72	+ 3	
	修理収入	26	27	+ 1	
	小計	215	206	△ 9	
	計	481	438	△ 43	
	施設工事	13	30	+ 17	
その他農業関連	105	104	△ 1		
合計	599	572	△ 27		

## 主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品は、消費増税駆け込み後の反動減、新型コロナウイルス影響による展示会中止や営業活動自粛により、34億円の減収  
作業機は農機製品の減少に連動し減収
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移
- ✓ 施設工事は大型施設工事の完工があったことにより、17億円の増収

# 海外売上高

前年同期比  
△26億円

中国、韓国向け売上が増加するも、北米、欧州、アセアンの減少により全体では減収

(単位:億円)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	前年同期比	
				備考
北米	64	47	△ 17	トラクタ:△17
欧州	59	51	△ 8	トラクタ:△2 芝刈機:△6
中国	1	4	+ 3	田植機:+3
アセアン	9	5	△ 4	トラクタ:△3
その他	21	24	+ 3	韓国:+2
製品計	154	131	△ 23	
部品その他	22	19	△ 3	
連結売上高合計	176	150	△ 26	

- 主な増減要因(前年同期比)
- ✓ 北米 : エンジン入荷遅れによるトラクタの出荷減少により減収
  - ✓ 欧州 : ドイツ、ベルギーなどで現地代理店店舗が一時閉鎖されたことによる出荷調整により減収
  - ✓ 中国 : 東風井関への半製品出荷増により増収
  - ✓ アセアン: インドネシア向けトラクタの減少により減収
  - ✓ その他: 韓国向けトラクタ、コンバインの出荷増により増収

# 営業利益

前年同期比

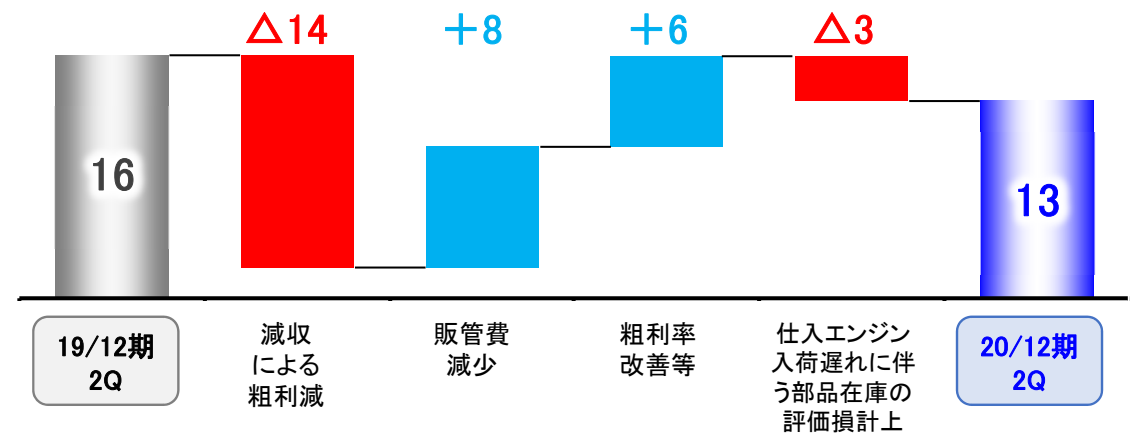
△3億円

減収による粗利益減少を販管費の削減や利益率改善などでカバーするも、部品在庫の評価損計上等により前年同期比減益

(単位:億円、%)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	前年同期比
売上高	775	722	△53
売上総利益	225	214	△11
粗利率	29.1%	29.7%	+0.6%
販管費	209	201	△8
人件費	122	120	△2
その他経費	87	81	△6
営業利益	16	13	△3

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△3	△3	0	±0



# 経常利益、四半期純利益



経常利益  
前年同期比  
+3億円

為替差損の好転や、東風井関の収益改善および当社出資比率変更に伴う持分法投資損失の減少等により前年同期比増益

(単位:億円)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	前年同期比
営業利益	16	13	△3
金融収支	△4	△4	±0
その他営業外損益	△4	2	+6
経常利益	8	11	+3
特別利益	1	6	+5
特別損失	△1	△1	±0
税前利益	8	16	+8
税、税調整額	△1	△6	△5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7	10	+3

## 営業外損益増減内訳(前年同期比)

持分法投資損失の減少	+5億円
為替差損の好転	+1億円

## ・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	19/12期 2Q実績	20/12期 2Q実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△7	△2	+5
持分変動損益 (特別)	-	6	+6

### 3. 2020年12月期 業績予想

## ◆事業環境の前提

- ✓新型コロナウイルス感染症は、翌期(2021年)の前半には収束
- ✓国内外での経済活動の再開が進んでいることを踏まえ、当期の第3四半期以降当社グループの販売は徐々に回復

## ◆市場別の見通し

<国内> : 展示会が段階的に再開し、新型コロナウイルス影響は徐々に縮小

### <海外>

北米 : 内製エンジン搭載の新商品により上期のエンジンの入荷遅れによる影響は解消

欧州 : 現地代理店の上期売上減少の影響による一定期間の在庫調整を想定し、当社出荷は減少  
現地市場はコンシューマ向けを中心に回復し、キセキフランスは回復

アセアン : インドネシア入札の減少に加え、主力であるタイでの干ばつ影響が長期化

アジア : 上期に引続き韓国、台湾が堅調に推移

### <生産の見通し>

上期での国内外の販売低迷により、流通在庫および販売代理店在庫が増加、下期は在庫調整を想定

### <新型コロナウイルス影響(想定)>

売上高影響額: 国内△27億円、海外△16億円、計△43億円

# 2020年12月期 連結業績予想



## 業績 予想

- ・通期連結業績予想は、翌期の前半には新型コロナウイルス感染症は収束する仮定のもと、国内外で経済活動の再開が進んでいることを踏まえ、当期の第3四半期以降当社グループの販売は徐々に回復するものと想定。一方、利益面では、足許の流通在庫の増加を受けた在庫調整の実施を織込み連結業績予想を算定
- ・配当予想は、新型コロナウイルス感染症による経済的影響の不確実性を考慮し、引き続き未定

### 1. 通期連結業績予想

(単位: 億円)

	19/12期 実績	20/12期 ※ 予想	増減 前期比
売上高	1,499	1,445	△54
(国内)	1,177	1,145	△32
(海外)	322	300	△22
営業利益	27	11	△16
経常利益	11	2	△9
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	2	△5
為替 レート(円)	米ドル 109.3	106.5	△2.8
	ユーロ 121.6	118.8	△2.8

※予想: 2020年8月6日公表予想

### 2. 配当予想

(単位: 円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※ 予想
期末配当	30	30	未定

#### 【売上高】

- ・国内は、部品・修理収入・施設工事で増収も、新型コロナウイルス影響や消費増税駆け込み後の反動、による農機製品・作業機の減収が響き、全体で減収の見込み
- ・海外は、上期の新型コロナウイルス影響(欧州)やエンジン入荷遅れ(北米)による減収をカバーしきれず減収の見込み

【収益】営業利益は新型コロナウイルス影響や消費増税駆け込み後の反動減等による売上減少に伴う粗利益減少に加え販売会社合併に伴う退職給付費用など一時的マイナス要因もあり減益見込み

\* 第3四半期以降想定為替レート: 米ドル=105円、ユーロ=118円

# 国内売上高予想

国内  
売上高

部品・修理収入・施設工事で増収も、消費増税駆け込み後の反動、新型コロナウイルス影響による農機製品・作業機の減収が響き、全体で減収の見込み

(単位:億円)

		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※ 予想	前期比 増減	
農機 関連	農機 製品	整地機	274	254	237	△17
		栽培機	92	90	84	△6
		収穫調製機	200	186	168	△18
		小計	566	530	489	△41
	農機 関連	作業機	202	201	190	△11
		部品	148	150	153	+3
		修理収入	56	57	59	+2
		小計	406	408	402	△6
		計	972	938	891	△47
		施設工事	57	46	63	+17
	その他農業関連	199	193	191	△2	
	合計	1,228	1,177	1,145	△32	

※予想:2020年8月6日公表予想

# 海外売上高予想

ISEKI

海外  
売上高

下期は回復傾向とみるも、上期の新型コロナウイルス影響(欧州)やエンジン入荷遅れ(北米)による減収をカバーしきれず減収の見込み

(単位:億円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※ 予想	前期比 増減
北 米	108	127	117	△10
欧 州	109	102	93	△9
中 国	10	1	6	+5
アセアン	39	17	8	△9
その他	18	35	45	+10
製品 計	284	282	269	△13
部品その他	48	40	31	△9
連結売上高合計	332	322	300	△22

※予想:2020年8月6日公表予想

# 連結営業利益予想

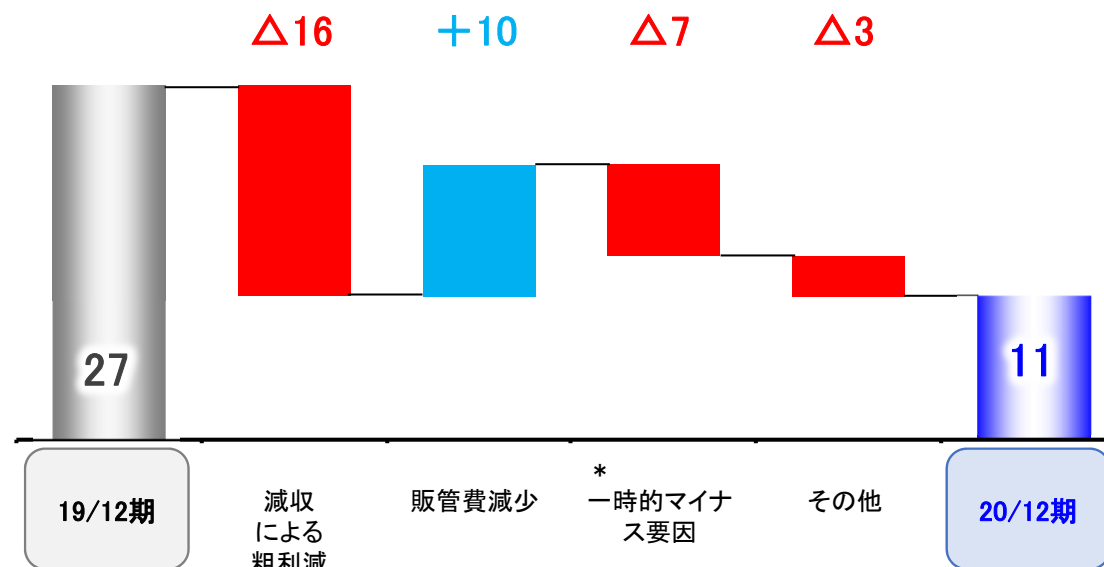
## 業績 予想

営業利益は新型コロナウイルス影響や消費増税駆け込み後の反動減等による売上減少に伴う粗利益減少に加え、一時的マイナス要因等もあり減益の見込み

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※ 予想	前期比 増減
売上高	1,560	1,499	1,445	△ 54
売上総利益	460	445	423	△ 22
粗利率	29.5%	29.7%	29.3%	△0.4%
販管費	428	418	412	△ 6
人件費	254	247	248	+ 1
その他経費	174	171	164	△ 7
営業利益	32	27	11	△ 16

※予想: 2020年8月6日公表予想

【営業利益増減内訳(前期比)】



\* 一時的マイナス要因 : 販売会社合併に伴う退職給付原則法適用の一時的負担 △4億円  
仕入エンジン入荷遅れに伴う部品在庫の評価損計上 △3億円



# 将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。